



# SDGsの取り組みについて

日に日に暑さが増してきましたね。これから梅雨の時期に入っていく戸外での活動が少なくなりますが、室内での活動をより充実しながら子どもたちと一緒に楽しく過ごしていきたいと思ひます。

保護者の皆様には園での取り組みとして行っています SDGs 活動にご協力いただき、ありがとうございます。子ども達に SDGs の事を伝えていく事は難しくもありますが、日常の活動での視点を変えるだけで SDGs に繋がっている事も沢山あります。今回は「園の生活の中で、子ども達が行っている事」を紹介させていただきます。

### 毎日触れる食

- ・野菜や果物などを育て、食べる（栽培経験 → 収穫 → 食べる）
- ・絵本で食べ物と健康についての関係を知る（三大栄養素など）
- ・バイキング給食(つき組) → 自分の適量が分かるようになり残飯削減に繋がっている



※主体的に食事に参加できるようになる

### 毎日触れる水

(のどが渇いた時・手を洗う時・歯磨きをする時など必要不可欠な水)

水がある事が当たり前ではない



だから水を大切に使う



水の閉め忘れに注意しよう



※もったいないと気づく心・意識して使う気持ちが育まれてくる

★日々何気なく行っている事ですが、とても大切なことだと感じます。特別な事をしなくても、こういう何気ない行動がどんどん増え、自然と SDGs に繋がっていくと考えると嬉しいですね。今後もいろんな視点を踏まえながら、子ども達と一緒に何が出来るかを考えながら、日々の活動に携わっていただければと思ひます。

ほかにも・・・!

子どもの「自分らしさ」を応援する

- ・好きな事に とことん取り組む
- ・認めてもらう経験を積む
- ・好きな事を見つける(その為の環境を整える)



※子どもの自尊心が高まり SDGs の根本に繋がる

★SDGs の理屈を伝えるのではなく、年齢・発達にあわせて子どもが経験の中で学んでいく事が大切だと感じます

### 【SDGsを感じるための絵本の紹介】

「にじいろの さかな」 ・にじいろの鱗とキラキラ輝く銀の鱗を持った美しい魚。でも気がつけば一番寂しい魚になっていて・・・子ども達に「貧困」を教える事は難しくても解決策に繋がる「ステキなものを独り占めせず分け合う大切さや嬉しさ」を知る事ができ、心が育まれます。

「ピンクは おとこのこのいろ」 ・「ピンクは女の子・ブルーは男の子」という今までの価値観を変えていきましょう。シンプルで分かりやすく、価値観や概念について考えさせられます。